

議員提出決議案第1号

総合戦略策定に当たっての議会意見について

山陽小野田市議会会議規則第13条第1項の規定により、別紙のとおり提出する。

平成28年3月25日提出

提出者	山陽小野田市議会議員	三浦英統
賛成者	山陽小野田市議会議員	大井淳一郎
〃	山陽小野田市議会議員	河崎平男
〃	山陽小野田市議会議員	石田清廉
〃	山陽小野田市議会議員	下瀬俊夫
〃	山陽小野田市議会議員	矢田松夫

総合戦略策定に当たっての議会意見

今回の本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たり、議会の立場から〈素案〉について検証した。

結婚・子育て支援の推進や子どもの医療費助成など、議会政策提言が各分野で反映されていることに高い評価をするが、平成28年度予算は一部の計上にとどまっている。当該計画は、平成27年度から31年度までの5か年計画であることから、今後もできるだけ早い時期の予算化を切望する。

また、当該計画のより一層の実効性を高めるためにも次の事項について要望する。

- ・ 転入奨励金事業に続く新たな転入促進事業を推進すること。
- ・ 空き家バンクの設置などの空き家対策に早急に取り組むこと。
- ・ 子育て世代包括支援センターが身近な拠点となるよう支援体制を充実強化させること。
- ・ 子育てに関する総合的な窓口を早急に設置すること。
- ・ 若者の就職支援、雇用創出、企業誘致活動の推進などについての事業化及び予算化を加速させること。
- ・ 地域公共交通を活性化させ、市内に人の流れを作り出すこと。
- ・ 各事業を点ではなく線あるいは面で捉え、全庁的な推進体制を構築すること。

最後に議会として政策提言を行った立場から、今後の総合戦略の進捗状況や実施状況について常任委員会を中心に検証を行っていくが、総合戦略の進捗については、行政と議会が車の両輪となって進めていくべきであることを付け加えて意見提出とする。

平成 年 月 日

山陽小野田市議会